

もっと知りたい！！ 宇宙のこと

最新情報はこちら をcheck!



NAOJ 国立天文台
HP: <https://www.nao.ac.jp/>



JAXA 宇宙航空研究開発機構
HP: <https://www.jaxa.jp/>

12月・1月の天文情報



GEMINI

ふたご座流星群、観測のチャンス！

国立天文台によると、今年の12月14日から15日明け方にかけて普段より多くのふたご座流星群の流れ星を見られるかもしれません！時間帯によって見える星の個数は変わりますが、一番多くて1時間に50個程度の流れ星を観察できるそうです。観察しに行くときは寒さ対策をしっかりとってくださいね！



2026年初日の出

お正月は初日の出を見に行こうと計画を立てている人も多いのではないのでしょうか。国立天文台の情報によると、東京では6:51ごろに初日の出が見られるようです。ちなみに日本で一番早く初日の出を観測できるのは、人が住んでいるところだと小笠原諸島母島の6:20だそう。初日の出をどこで見るのか、それを目的に旅行先を選んでみるのも楽しいかもしれませんね。

冬によく見える星座



ふたご座

ギリシア神話に出てくる双子の兄弟カストルとポルックス。この二人を星座に表したのがふたご座です。

白っぽく光っているのが兄カストル、オレンジ色がかって光っているのが弟のポルックスです。オリオン座や冬の大きな星を目安に探してみてくださいね！

冬の星座を知りたいときは

藤井旭の星座と星座神話 冬
A Guide to Stars and Constellations

出版社:誠文堂新光社
著者:藤井旭



初めての人が実際の夜空で自分の誕生星座が見つけれられるよう、冬の星座について、豊富な写真やイラストを用いてくわしく解説。学名と略符のほか、星座のデータや星座神話も紹介。

(TRC MARKより引用)

裏面にもつづきます→

★topic★



今年の10月に最終回を迎えたNHKの夜ドラ『いつか、無重力の宙で』をご覧になりましたか?高校の天文部に所属していた女子4人組が大人になって再び集まり、超小型人工衛星を自分たちで作ろうと奮闘する内容でした。

自分たちの力で宇宙と関われると思うと、なんだかワクワクしますよね。今回は人工衛星や天体望遠鏡を自作するための本を紹介しています。自分の手を宇宙に伸ばしてみたい、そんな興味を抱いたときにぜひ読んでみてくださいね。



おすすめの本



#趣味で作る人工衛星

出版社: オーム社

著者: リーマンサット・プロジェクト

宇宙はもう専門家だけのものじゃない!宇宙工学科出身者もいない普通のサラリーマンたちが、実際に作った人工衛星の技術情報や開発秘話などを図表や写真とともに紹介。時系列順に解説しているので、衛星開発の流れが分かる。

(TRC MARCより引用)



天体望遠鏡を作ろう えびなみつの完全図解

出版社: 誠文堂新光社

著者: えびなみつる 監修: 池谷薫

初心者向けに反射鏡研磨のノウハウと望遠鏡の作り方をまとめた一冊。手磨きの鏡面の精度はメーカーの大量生産品を遙かに凌駕する精度になり得る。ものを作る楽しさと達成感を味わう体験にぜひチャレンジ!

(TRC MARCより引用)



手作りロケット打ち上げテクニック 火薬を使った本格ロケット

出版社: 誠文堂新光社

著者: 足立昌孝 監修: 日本モデルロケット協会

1957年に米国で誕生し、50年間無事故を誇る宇宙科学教材「モデルロケット」。その世界的リーダーであるエステス社の製品を紹介するとともに、ライセンスの取り方、オリジナルロケットの作り方なども説明する。

(TRC MARCより引用)



QRコードを読み込むと、品川図書館のホームページから本の詳細を確認することができます